

はままつWell-Beingアワード2024 応募申込書

【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU



2024年7月16日

企業又は団体名：株式会社 杏林堂薬局

- ・地域幸福度（Well-Being）指標は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を可視化する指標として、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（以下 SCI-Japan）が作成・開発した Liveable Well-Being City 指標® の別称です。
- ・Liveable Well Being City 指標を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、SCI-Japanに帰属しています。

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

1

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容																					
1	取組やサービスの名称	(事業・プロジェクト単位を基本として記載) 市民向け秋の大運動会																					
2	取組やサービスの対象・ターゲット	(例) 子育て中の親 小学生以下の子を持つ家庭																					
3	取組やサービスの内容	(活動年数、頻度、対象地域、対象人数等を使ってできるだけ具体的に記載) <table border="1"><thead><tr><th>実施年月日</th><th>参加人数</th><th>会場</th></tr></thead><tbody><tr><td>2016/10/21</td><td>430</td><td>草薙競技場</td></tr><tr><td>2017/10/7</td><td>610</td><td>四つ池競技場</td></tr><tr><td>2018/10/13</td><td>878</td><td>四つ池競技場</td></tr><tr><td>2019/9/29</td><td>930</td><td>四つ池競技場</td></tr><tr><td>2022/10/29</td><td>544</td><td>四つ池競技場</td></tr><tr><td>2023/11/18</td><td>810</td><td>四つ池競技場</td></tr></tbody></table> <p>〈2023年の詳細〉 開催時間：10:00～15:00 実施種目：短距離走50m 短距離走100m(年齢に合わせて距離設定) 障害物競走 4×100Mリレー 玉入れ ブース：ミニゲーム(輪投げ、ストラックアウト、健康測定(血圧、血管年齢、BMI、握力) 女性の健康相談</p>	実施年月日	参加人数	会場	2016/10/21	430	草薙競技場	2017/10/7	610	四つ池競技場	2018/10/13	878	四つ池競技場	2019/9/29	930	四つ池競技場	2022/10/29	544	四つ池競技場	2023/11/18	810	四つ池競技場
実施年月日	参加人数	会場																					
2016/10/21	430	草薙競技場																					
2017/10/7	610	四つ池競技場																					
2018/10/13	878	四つ池競技場																					
2019/9/29	930	四つ池競技場																					
2022/10/29	544	四つ池競技場																					
2023/11/18	810	四つ池競技場																					

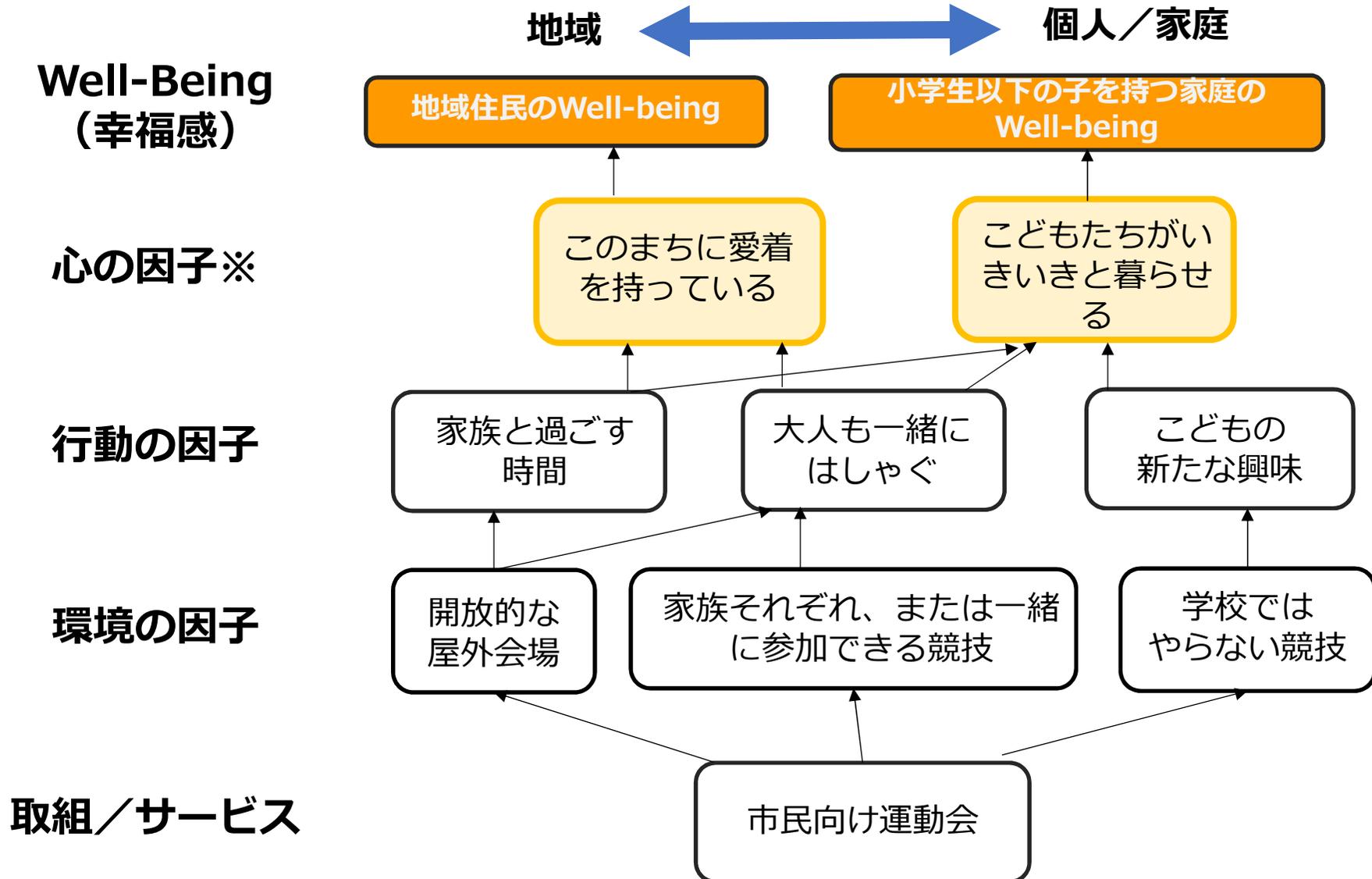
No	項目	内容
4	対象・ターゲットの幸福感向上のストーリー	<p>(取組やサービスにより対象・ターゲットの幸福感がどのように向上するか、仮説を立てて記載)</p> <p>※末尾にある様式「幸福感向上のロジックツリー」を作成し、幸福感向上の仮説を補足してください。</p> <p>市民から参加者を募って実施する運動会では、小学生以下の子供と親、そして祖父母と一緒に過ごす機会を提供している。また、運動会を観覧席で家族と一緒に過ごすという多くの幼稚園と同様の形式をとっている。これにより必然的に親は子供の好きなお弁当やおやつを用意するなど、子供は大切にされていることを改めて実感し、自己肯定感の向上に繋がる。また、競技色の強い競技だけでなく、ダンスやゲーム色の強い競技を実施することで、学校では活躍しきれない子供も活躍できる可能性があり、自信をつける機会となる。</p> <p>そして、親と一緒に競技に参加することで絆が深まったり、親が競技に参加している間は、祖父母と子供だけの時間ができることで、普段とは別のコミュニケーションの機会を創出する。</p>
5	地域への波及効果	<p>(対象・ターゲットの幸福感向上により、地域全体の幸福感へどのように波及していくか記載)</p> <p>運動会への参加が決まると、子供によいところを見せたい親や祖父母は、事前に運動や練習をし始めるケースが多い。これを機会にジムに通い始めた親や祖父母がいると聞いていることから、地域の健康寿命延伸と経済活動の促進にも繋がっている。</p> <p>また、申込者のアンケートより、『こちらの運動会を何で知ったか?』の回答が、毎年約27.5%の方が『知人からの紹介』であることから、地域コミュニケーションの促進、運動習慣の増進の一助となる。</p>

No	項目	内容
6	取組やサービスの効果測定的设计	<p>(取組やサービスの効果測定の方法を記載) ※実際に取組やサービスの効果測定を実施していない場合でも、今後の方針や構想を記載してください。</p> <p>参加者の運動会参加前後で、同じ内容のアンケートを実施し、結果を比較する。</p> <p>内容は、</p> <p>〈子供向け〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信を持っているか？ ・新しいことに挑戦するのが好きか？ ・何かを頑張った後、自分を褒めたいと思うか？ など <p>〈親向け〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもと一緒にいる時間を楽しんでいるか？ ・こどもと一緒に問題解決ができるか？ ・こどもは、自分の考えや気持ちをよく話すか？ など
7	取組やサービスのPDCAサイクル的设计	<p>(取組やサービスの効果的なPDCAサイクルを回していくための方針を記載) ※実際に取組やサービスのPDCAサイクルが未整備であっても、今後の方針や構想を記載してください。</p> <p>運動会前後でのアンケート結果を集計し、比較する。 運動会の社内企画運営メンバーで共有し、来年に向けた改善点を議論する。 次回は事前に各項目の目標点を設定し、参加者のウェルビーイングを高めていく機会とできるようにしていきます。</p>

No	項目	内容
8	取組やサービスを紹介したホームページやSNS等（任意）	(ホームページのURL等を記載) https://www.kyorindo.co.jp/topics/20231118_sports_festival/
9	取組やサービスの写真等（任意）	(写真等の画像を枠内に貼り付けてください) ※応募申込書ファイル自体の容量が10MBを超えてしまう場合は、 浜松スマート申請の「補足資料」にてご提出ください。 

<幸福感向上のロジックツリー>

ターゲット：小学生以下の子を持つ家庭



※出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」